

[成果情報名]熊本県育成長ナス品種「ヒゴムラサキ2号」の特性

[要約]長ナス品種「ヒゴムラサキ2号」は、従来品種の「ヒゴムラサキ」の良食味等の果実特性を維持しながら、果皮の着色性に優れ、舌出し果の発生が少なく、可販果率および秀品率が向上する。

[キーワード]熊本長ナス、ヒゴムラサキ2号、育種、果皮の着色性、舌出し果

[担当]熊本県農業研究センター・農産園芸研究所・野菜研究室

[代表連絡先]電話 096-248-6444

[分類]普及成果情報

[背景・ねらい]

「ヒゴムラサキ」は、熊本県在来の「熊本長ナス」から選抜固定した系統間の一代雑種品種であり、果皮が赤紫色で良食味である。しかし、「ヒゴムラサキ」は葉陰等による弱光条件や夏期の高温条件で果皮の着色が低下しやすく、舌出し果の発生も多い。

そこで、「ヒゴムラサキ」の良食味を維持しながら、着色性を改善し、舌出し果の発生が少ない品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 「ヒゴムラサキ2号」は「ヒゴムラサキ」と類似の果形で果皮の着色性に優れる県育成系統「09-14-1-4」を種子親に、「ヒゴムラサキ」の種子親である「No.9」を花粉親として得られた一代雑種品種である。
2. 「ヒゴムラサキ2号」は「ヒゴムラサキ」に比べ、秀品率および可販果率が高く、秀品果収量および可販果収量が多い傾向である（表1）。
3. 着色不良果および舌出し果の発生割合は「ヒゴムラサキ」より「ヒゴムラサキ2号」が低い（表1）。
4. 「ヒゴムラサキ2号」の果形は長ナスタイプで、「ヒゴムラサキ」と比較して夏期の高温条件で果皮の着色が優れる（写真1）。果実重は「ヒゴムラサキ」と同程度である（表2）。
5. 「ヒゴムラサキ2号」は「ヒゴムラサキ」と同様に草勢は“やや強”、分岐性は“強”、草姿は“開帳性”である（表3）。

[普及のための参考情報]

1. 普及対象：熊本県内ナス生産者 県外許諾なし
2. 普及予定地域・普及予定面積：熊本県内
3. その他：平坦地では夏期の高温の影響で果実品質が低下しやすいため、準高冷地の夏秋栽培に適する。品種の育成および特性検定試験にかかる調査は熊本県農業研究センター農産園芸研究所（合志市、標高80m）で、地域適応性試験は熊本県農業研究センター高原農業研究所（阿蘇市、標高543m）で行った。

[具体的データ]

表1 特性検定および地域適応性試験における可販果収量、品質内訳

(株あたり)

試験区分	品種名	可販果収量			可販果率 (%)	秀品率 (%)	着色不良果発生率 (%)	舌出し果発生率 (%)
		果数	重量 (kg)	(100)				
特性検定試験	ヒゴムラサキ2号	55.3	15.6	(105)	80.1	28.2	2.3	5.8
	ヒゴムラサキ	50.7	14.9	(100)	75.2	18.3	16.6	11.5
地域適応性試験	ヒゴムラサキ2号	80.0	24.3	(114)	88.0	64.5	0.6	6.3
	ヒゴムラサキ	68.2	21.3	(100)	79.8	44.9	0.7	9.7

注1) 特性検定試験、地域適応性試験共に平成27年4月27日定植、10月30日まで収穫

注2) ()内の値はヒゴムラサキ(対照)を100%とした比率

注3) 着色不良果および舌出し果発生率は総果数に対する該当果実数の割合を示す(株あたり)

注4) 着色の調査は達観で行い、果皮に白色部分がある果実、果皮全体が薄紫色の果実を着色不良果とした。

表2 特性検定および地域適応性試験における果実特性

試験区分	品種名	重量 (g)	長さ (cm)	果径(mm)	
				最大	最小
特性検定試験	ヒゴムラサキ2号	336.7	25.8	74.4	52.3
	ヒゴムラサキ	347.8	26.0	75.8	50.0
地域適応性試験	ヒゴムラサキ2号	351.8	25.4	74.3	53.6
	ヒゴムラサキ	360.2	25.4	75.3	52.0

注1) 可販果をランダムに抜き取り1回あたり5果供試した。

特性検定試験 : 6~9月、計16回 (n=80)

地域適応性試験 : 7~10月、計8回 (n=40)



写真1 特性検定試験における果皮色の比較
上段および中段：6月11日、下段：8月14日

表3 生育特性および食味評価

品種名	生育特性			食味			
	草勢	分枝性	草姿	硬さ		甘味	渋味
				果皮	果肉		
ヒゴムラサキ2号	やや強	強	開帳性	2.9	2.9	3.5	2.5
ヒゴムラサキ	やや強	強	開帳性	3.0	3.0	3.0	3.0

注1) 食味は素焼きにおける官能評価であり、ヒゴムラサキを3.0としたときの相対評価(パネル員11名)

果皮および果肉の硬さ：硬い(5.0)~軟らかい(1.0)

甘味および渋味 : ある(5.0)~ない(1.0)

(熊本県農業研究センター)

[その他]

予算区分：県単

研究期間：2002~2015年度

研究担当者：並崎宏美、彌富道男、古閑三恵、田中陽子、三原順一

発表論文等：「ヒゴムラサキ2号」品種登録第26515号(2018年1月30日)